



平成30年度入学式



4月10日(火)、新入生200名を迎え平成30年度入学式が挙行されました。森下校長は式辞で激励の意味を込めて次の2点について新入生に言葉をおくれました。

- ①メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手のように、二刀流で文武両道に頑張ってもらいたい。
- ②思いやりがあり自律的な行動ができる人間になってもらいたい。

対面式・クラブ紹介



4月11日(水)、新入生と会場の都合で入学式に参加できなかった在校生の対面式が行われました。緊張した面持ちの新入生に対して、在校生を代表して生徒会長が歓迎のことばを述べ、新入生代表も「上級生の皆さんよろしくお願ひします。」と元気よく挨拶しました。

午後からは新入生へのクラブ紹介が行われ、体育・文化クラブがそれぞれユーモアを交えた楽しいクラブ紹介・勧誘を行いました。

30年度各教科からの約束手形

本校では年度末の生徒による授業評価をもとに、生徒に対しての約束手形(今年度の授業の進め方や重点を置く点など各教科からの生徒への約束事)を出しています。

《 国 語 》

- ・漢字テストを週1回実施し、成績に入れます。
- ・定期的にノート点検し、予習復習の習慣をつけさせます。
- ・授業規律を乱す生徒の評価を厳しくします。

《 社 会 》

- ・調べ学習を積極的に行います。
- ・補習を充実させ、学力が向上するよう努めます。

《 数 学 》

- ・1年2年 普通科：週1回程度の問題集ノートの提出を課します。
- 商業科：年に6回程度問題演習ノートの提出を課します。
- ・夏休みには全学年の生徒を対象に補習を行います。
- ・1年生の週例テストでの成績不振者に対して特別補習を行います。

《 理 科 》

- ・宿題の内容を充実させ、家庭学習の習慣をつけさせます。

- ・小テストを行い、基本事項の定着を図ります。
- ・小テスト、実験レポート、宿題、自習課題も含め、全て評価の対象とします。

《 英 語 》

- ・商業科：全商英検対策の強化を行います。
- ・普通科：定期的な単語テストや3文テストを実施します。

《 家 庭 》

- ・板書、指示、説明を丁寧にし、ノート提出で確認します。
- ・復習テストと定期テストを連動して取り入れます。
- ・地域の食材、文化などを教材に取り入れます。

《 保 体 》

- ・(体育) 運動量の確保を基本とし、ルールとマナーを守り、規律ある雰囲気の中で、運動することの楽しさや喜びを感じ、積極的に取り組めるような授業を目指します。また、生徒の発言する機会を増やし、自主的に授業を作り上げていくよう工夫をしていきます。
- ・(保健) 生徒が興味をもって楽しみながら取り組める授業展開を考え、規律ある授業を通して、生涯を通して、自らの健康を適切に管理し、改善していける態度が育つよう指導していきます。

《 商 業 》

- ・検定取得のための補習を延べ年間300時間以上行います。
- ・全商検定3種目以上1級合格者を学年の20%以上となるよう指導します。

《 芸 術 》

- ・視聴覚教材等を利用して、多様な芸術活動を学習します。
- ・日常生活に関連のあるテーマを教材にして、芸術を学習します。

退職・転出された先生方

瀬岡 金次	先生 (数学)	定年退職
小畑 順司	先生 (社会)	伊都中央高校定時制へ
堀内ひとみ	先生 (英語)	那賀高校へ
木部 貴行	先生 (商業)	和歌山商業高校へ
桐谷衣里子	先生 (保体)	箕島高校へ
中山 千佳	先生 (養護)	海南高校大成校舎へ
松本 真規	先生 (国語)	和歌山商業高校へ
林 祐里	先生 (事務)	和歌山盲学校へ

転入された先生方

林 晃平	先生 (社会)	市立和歌山高校定時制から
森井 啓宏	先生 (保体)	南紀高校定時制から
江口ゆかな	先生 (商業)	和歌山商業高校から
梅本 誠也	先生 (数学)	和歌山北高校西校舎から
山本 茜	先生 (英語)	
那須 素子	先生 (商業)	
山本 桂子	先生 (養護)	開智中学校・高等学校から
玉井 厚実	先生 (事務)	紀の川高校から

5月の主な学校行事

1日(火)	新体力テスト
2日(水)	校外学習
7日(月)	1学期中間考査時間割発表 3年学校別進路説明会(5・6限)
14日(月) ~17日(木)	1学期中間考査
17日(木)	県高校総体壮行会
18日(金)	1年大学訪問(全員)
19日(土)	看護医療記述模試(3年希望者)
22日(火)	教育実習開始